

ビルメンテナンスの清掃 DX の実現に向けたプロジェクト発足 DX 清掃ロボット「Whiz i アイリスエディション」 ビルメンテナンス事業最大規模 600 台導入決定



アイリスオーヤマ株式会社（本社：宮城県仙台市、代表取締役社長：大山 晃弘、以下「アイリスオーヤマ」）と星光ビル管理株式会社（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：長谷川 靖、以下「星光ビル管理」）は、ビルメンテナンスにおける清掃業務の DX を実現するプロジェクトを発足します。

今回のプロジェクトにおいて、星光ビル管理は、管理している約 2,300 件の施設のうち、清掃ロボットの導入条件を満たし、オーナーの了解を得られたものに対して、2023 年 4 月から 2024 年末までの期間で、600 台を目標に DX 清掃ロボット「Whiz i アイリスエディション」^{※1}を順次導入していきます。

アイリスオーヤマは、ソフトバンクロボティクスとの提携により、DX 清掃ロボット「Whiz」シリーズを、オフィスや店舗、宿泊施設など、国内で累計 2,500 社以上^{※2}へ導入してきました。今回のプロジェクトでは、その実績や活用データに基づき、星光ビル管理に対してビルメンテナンス及び清掃業界での活用方法に関するコンサルティングや運用サポートを行っていきます。

清掃業界では近年、新型コロナウイルスの影響で清掃品質に対する要求水準が高まっていることに加えて、採用難による人手不足や現場清掃員の高齢化が深刻化しています。こうした環境において、星光ビル管理は、品質の高い清掃とビルメンテナンスサービスの実現を目指して清掃ロボットを大量導入し、清掃業務の DX を実現することで、人とロボットの協働を全社で推進していきます。

■DX 清掃ロボット「Whiz i アイリスエディション」

ソフトバンクロボティクスが開発・製造する「Whiz i」に、アイリスオーヤマ独自のオプション機能を追加できる DX 清掃ロボットです。床清掃を目的とする自律走行が可能な乾式バキュームクリーナーで、清掃業務の自動化だけでなく、空間浮遊菌量や床面のウイルスを含む菌を削減できます。近年は、様々な外部機器と接続できるコネクタにより、スピーカーやカメラを用いた販促やマーケティングへの活用といった清掃にとどまらない多様な分野で利用されています。



©IRIS OHYAMA / SoftBank Robotics

機能詳細は、製品公式ウェブサイトをご確認ください。

<https://www.irisohyama.co.jp/b2b/robotics/products/whiz-i/>

※1 ソフトバンクロボティクス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO：富澤 文秀、以下「ソフトバンクロボティクス」）が開発・製造。

※2 「Whiz」シリーズ累計。2022 年 12 月時点。

■アイリスオーヤマ株式会社 会社概要

- ・所在地：宮城県仙台市青葉区五橋 2-12-1
- ・代表者：代表取締役社長 大山 晃弘
- ・設立：1971年4月
- ・事業内容：生活用品の企画、製造、販売
- ・URL：<https://www.irisohyama.co.jp/>

■星光ビル管理株式会社 会社概要

- ・所在地：大阪府大阪市中央区北浜 3 丁目 5 番 29 号 日本生命淀屋橋ビル
- ・代表者：代表取締役社長 長谷川 靖
- ・設立：1950年12月
- ・事業内容：オフィスビル、病院・老健施設、商業施設、工場・物流倉庫、公共・教育施設、ホテル・宿泊施設などの総合管理業務 等
- ・URL：<https://www.saycogroup.co.jp/>

星光ビル管理は、1963年に日本生命保険相互会社の本店ビル、投資用ビルの管理をはじめに「ビル総合管理業」をスタートしました。以来、今日に至るまで、設備管理、施設管理、設備機器保守点検、清掃をはじめ、プロパティ・マネジメント、各種建物・設備の改修・修繕工事、オフィス・テナントサービスに至るまで、多様化するお客様のニーズにワンストップでサービスを提供してまいりました。これからもお客様に「安心」「安全」「快適」を持続的に提供できる企業を目指します。